



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月9日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6490 URL <http://www.pillar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩波 嘉信

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤井 正博

TEL 06-7166-8248

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

2021年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	19,231	39.9	5,271	197.4	5,366	190.2	3,757	188.3
2021年3月期第2四半期	13,742	4.1	1,772	1.8	1,849	2.4	1,303	1.1

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 4,177百万円 (158.2%) 2021年3月期第2四半期 1,617百万円 (19.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	158.98	
2021年3月期第2四半期	54.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	59,938	48,969	81.7
2021年3月期	54,949	45,776	83.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 48,969百万円 2021年3月期 45,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		20.00		30.00	50.00
2022年3月期		45.00			
2022年3月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

なお、詳細は、2021年11月9日公表の「剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	25.8	10,000	106.3	10,000	96.3	7,000	103.2	296.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

なお、詳細は、2021年11月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) ジョ州ピラー工業有限公司、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	25,042,406 株	2021年3月期	25,042,406 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,398,360 株	2021年3月期	1,409,871 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	23,637,476 株	2021年3月期2Q	23,941,174 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により個人消費の低迷や経済活動が制限され、厳しい状況で推移しました。一部、海外輸出を中心とした景況感の改善はみられたものの、依然として先行き不透明な状況にあります。

また、世界経済においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経済の回復に国、地域差があり、米中貿易摩擦、地政学リスク、半導体不足問題、原油価格高騰等により、先行きの不透明感は継続しております。

このような環境の中、電子機器関連事業においては、半導体需要の拡大に伴う受注の増加により、売上高は前年同期比で大きく増加いたしました。また、産業機器関連事業では、石油精製、石油化学市場等の需要低迷は続いているものの、精密機械装置向け製品の受注増により、売上高は前年同期比で増加となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高192億31百万円（前年同期比39.9%増）、営業利益52億71百万円（前年同期比197.4%増）、経常利益53億66百万円（前年同期比190.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益37億57百万円（前年同期比188.3%増）となりました。

連結売上高をセグメント別に見ますと、電子機器関連事業は143億16百万円（前年同期比59.1%増）、産業機器関連事業は48億54百万円（前年同期比3.3%増）、その他部門（不動産賃貸業等）は60百万円（前年同期比35.2%増）となりました。

また、営業利益のセグメント別につきましては、電子機器関連事業は45億22百万円（前年同期比238.2%増）、産業機器関連事業は7億14百万円（前年同期比71.6%増）、その他部門（不動産賃貸業等）は35百万円（前年同期比82.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加、売上債権の増加等により前連結会計年度末に比べ49億89百万円増加し、599億38百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、未払金の増加、未払法人税等の増加等により前連結会計年度末に比べ17億95百万円増加し、109億68百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により前連結会計年度末に比べ31億93百万円増加し、489億69百万円となりました。

この結果、自己資本比率は81.7%（前連結会計年度末は83.3%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは売上債権の増加額△19億35百万円がありましたが、税金等調整前四半期純利益53億68百万円等により30億55百万円（前年同期は26億74百万円）となりました。

また、投資活動によるキャッシュ・フローは有形及び無形固定資産の取得による支出2億69百万円等により△2億54百万円（前年同期は△30億34百万円）となり、財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払額7億8百万円等により△6億30百万円（前年同期は△12億20百万円）となりました。

その結果、現金及び現金同等物は前期末比25億55百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は130億72百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、2021年8月6日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日2021年11月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,918	14,415
受取手形及び売掛金	7,846	8,744
電子記録債権	4,855	6,018
商品及び製品	973	1,028
仕掛品	1,315	1,483
原材料及び貯蔵品	736	907
その他	351	487
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	27,994	33,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,174	12,898
機械装置及び運搬具(純額)	2,312	2,374
土地	4,763	4,773
その他(純額)	418	642
有形固定資産合計	20,669	20,689
無形固定資産	246	208
投資その他の資産		
投資有価証券	4,886	5,083
退職給付に係る資産	254	264
その他	917	628
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	6,038	5,957
固定資産合計	26,955	26,854
資産合計	54,949	59,938
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,006	3,512
短期借入金	250	250
1年内返済予定の長期借入金	4	—
未払金	882	1,560
未払法人税等	1,113	1,733
賞与引当金	722	766
資産除去債務	117	117
その他	1,038	791
流動負債合計	7,133	8,731
固定負債		
長期借入金	—	100
退職給付に係る負債	1,536	1,580
資産除去債務	155	157
その他	347	398
固定負債合計	2,038	2,236
負債合計	9,172	10,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,196	5,208
利益剰余金	34,925	37,674
自己株式	△1,584	△1,571
株主資本合計	43,502	46,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,139	2,361
為替換算調整勘定	99	302
退職給付に係る調整累計額	34	29
その他の包括利益累計額合計	2,273	2,693
純資産合計	45,776	48,969
負債純資産合計	54,949	59,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	13,742	19,231
売上原価	9,328	10,923
売上総利益	4,414	8,308
販売費及び一般管理費	2,641	3,036
営業利益	1,772	5,271
営業外収益		
受取配当金	37	44
為替差益	12	24
その他	30	31
営業外収益合計	80	101
営業外費用		
支払利息	1	1
固定資産処分損	0	1
その他	1	2
営業外費用合計	4	6
経常利益	1,849	5,366
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	1,849	5,368
法人税、住民税及び事業税	591	1,642
法人税等調整額	△45	△32
法人税等合計	545	1,610
四半期純利益	1,303	3,757
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,303	3,757

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,303	3,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	446	221
為替換算調整勘定	△137	202
退職給付に係る調整額	5	△4
その他の包括利益合計	314	419
四半期包括利益	1,617	4,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,617	4,177

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,849	5,368
減価償却費	1,001	955
賞与引当金の増減額(△は減少)	8	43
退職給付に係る資産負債の増減額	24	27
受取利息及び受取配当金	△40	△46
支払利息	1	1
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1
売上債権の増減額(△は増加)	625	△1,935
棚卸資産の増減額(△は増加)	△110	△454
仕入債務の増減額(△は減少)	△144	195
未払消費税等の増減額(△は減少)	65	△200
その他	△353	103
小計	2,928	4,056
利息及び配当金の受取額	40	46
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△292	△1,046
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,674	3,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,631	△269
出資金の払込による支出	△400	—
その他	△2	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,034	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△219	△4
配当金の支払額	△482	△708
自己株式の取得による支出	△500	△0
その他	△18	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,220	△630
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	157
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,635	2,327
現金及び現金同等物の期首残高	10,798	10,517
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	508
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△279
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,162	13,072

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

ジョ州ピラー工業有限公司は、段階的に増資をした結果、当社の特定子会社に該当することとなりました。

第1四半期連結会計期間より、当該子会社を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントの記載順序を同様に變更しております。

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 関連	産業機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,999	4,699	13,698	44	13,742	—	13,742
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	7	7	△7	—
計	8,999	4,699	13,698	52	13,750	△7	13,742
セグメント利益	1,337	416	1,753	19	1,772	—	1,772

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 関連	産業機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,316	4,854	19,171	60	19,231	—	19,231
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	6	6	△6	—
計	14,316	4,854	19,171	67	19,238	△6	19,231
セグメント利益	4,522	714	5,236	35	5,271	—	5,271

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。